

幼稚園だより

ちよだ



6月号

令和8年5月29日
千代田区立千代田幼稚園
園長 木村 恭子

世界広がる6月へ！

園長 木村 恭子

6月を迎える前から、夏を思わせるような強い日差しの日が増え始めました。砂場のよしずやテラスの屋根の下で、日陰の心地よさを感じながら、初夏の風や光の中で元気に過ごしています。

新年度が始まって二か月。園での生活にも慣れてきて、自分の好きな遊びや安心できる場所、人との関わりを見付けながら、それぞれの世界を広げ始めています。



3歳児ばら組は、日に日に活動範囲を広げ、屋上ファームや体育館で遊ぶ日には意気揚々と出発していく姿があります。校庭ではフロアカーの運転免許を担任からもらい、地面を蹴ってぐんぐん進んだり曲がったりする面白さを味わっています。

4歳児さくら組は、水を使った砂場遊びが始まりました。水を流したりためたり、はだしで泥んこの感触を味わったりする様子は暑い日にはとても気持ちよさそうです。まだ少し抵抗のある子どもにとっても、大切な新たな経験になっていると感じます。



5歳児すみれ組は、自分の興味のある遊びにじっくり向き合う姿が増えてきました。ごっこ遊びでは、電車のつり革やラーメンの具材など遊びに必要なものを、身近な素材を活用したり時には教師も仲間になって話し合ったりしながらイメージの実現を目指します。



安心して自分を出せる環境があれば、他者とつながり、自ら世界を広げていこうとする気持ちが芽生えるのは、おとなも子どもも同じでしょう。幼児期の育ちも、「ここなら失敗しても大丈夫」「支えてくれる友達や先生がいる」という安心感や信頼が、挑戦する気持ちや探究する心を支えています。

色水遊びもじっくり。

幼稚園は、自分が心と体を動かせば世界が広がる場所、という手応えを感じた子どもたち。6月にはいよいよ屋内プールでの水遊びも始まります。子どもたちがそれぞれの世界を広げるチャレンジが今月も楽しみです！

気温や湿度が高くなり、疲れも出やすい時期です。園では一人一人の体調に十分配慮しながら、この季節ならではの遊びや自然との出会いを大切に、子どもたちの「やってみたい！」を応援していきます。



千代田幼稚園のホームページもご覧ください